

# 安全衛生活動

R7.7月号

7月に入り日中は30℃を超える日が続き、夏を感じる毎日ですので熱中症などには十分な注意をしましょう。

7月1日から7日は全国安全週間です。

なので今回は労働災害の事故の種類について考えていきます。



## 1. 墜落・転倒

労働災害で割合が一番多いのは墜落・転倒です。

作業中や重たいものを運搬をしている際には周りが見えない状況が起きるため、事故が発生しやすくなっています。作業開始前や運搬する際には足元等躓く可能性があるところに物がいないかの確認を行うようにしましょう。

高い場所での作業では安全帯やはしごを使用して安全に作業を行いましょう。



## 2. 交通事故（道路）

次に割合が多いのは交通事故です。

規制内への侵入や規制外への発進、機材の運搬をする時に規制外の道路を使用する際には勝手な行動はせずに必ずガードマンの指示に従いましょう。

## 3. はさまれ・巻き込まれ

次に割合が多いのははさまれ・巻き込まれです。

重機の作業をしている際に急な運転で重機と壁の間に挟まり最悪死亡してしまう事故もあります。重機の近くを通る際には、オペレーターの方に声をかけて通ることを伝え、相手が自分を認識した後に通るようにしましょう。



お客様と供に成長し、



作成者：加藤 隼人

すばらしい未来をつくる